

教育事業別報告書

事業名	子どもを支援する青年ボランティア養成研修
趣 旨	独立行政法人青少年教育振興機構（以下「当機構」という。）のボランティアとして、子供たちの体験活動を支援するボランティアの養成を図るために必要な知識・技術を習得する。
期 間	平成29年 6月16日（金） ～ 18日（日）
募集人員 (募集結果)	当機構でボランティアを希望する者 30名 (参加者12名)

① 事業の特色

この事業は、主に当所で活躍する「ボランティアの養成」を目的に、当所の教材・教具を十分活用し、自信を持って活動できる青少年教育施設ボランティアを養成する研修である。

今年度初めて2泊3日でボランティア養成研修と自然体験活動指導者（NEAL）資格を習得できるように、ボランティア養成研修の主担当が企画した。主に当所で活動する法人ボランティアが、体験活動の更なる技術向上やスキルアップと、自然体験活動指導者（NEAL）資格を習得する研修である。

研修内容は「青少年教育と青少年教育施設の役割」「青少年教育施設でのボランティア活動の意義」「青少年についての理解」「野外活動」などの講義・実習を行い、青少年教育施設で活動の意義や理解及び活動スキルを学んだ。

ボランティア育成事業の履修内容に加え、「対象者理解」「自然体験活動の特質」「自然体験活動の技術」の講義・実習を行い、自然体験活動の意義や理解をさらに深めることができた。

特に「自然体験活動の技術」では、「野外炊事」や「キャンプファイヤー」のプログラムに直接携わることで、講義による学びを即時的に生かすことができ、実践によって臨場感のある学びの場を提供することができた。



【講義の様子】



【対象者理解のワークショップ】



【救急救命講習の様子】

② 事業の成果と課題

<事業の成果>

- ・ 県内の大学等新たな広報先を加え、各大学に事業の周知を行うことができたとともに、大学で出前事業として研修会を実施し、ボランティア養成研修への参加のきっかけ作りを積極的に行った。
- ・ 地元自治体の教育長、ボランティアの実践を行っている大学教員を新たに講師として招き、より自然の家のボランティア活動に特化した内容の講義・実習を実施することができた。さらに、自然体験活動指導者（NEAL）に関わる研修では、NPO 法人として企画・運営・活動を第一線で行っている講師をお呼びし、データ分析等からの課題発見、解決に向けた活動の企画・発表を行った。

<事業の課題>

- ・ 広報の幅を広げることができたものの、実際の受講者を増やすことはできなかった。継続的に広報をしていくとともに、さらに積極的な働きかけが必要である。

① その他

- ・ 当所のボランティアとして自信を持って活動ができるよう、当所の知識や技能などが習得できるスキルアップ事業などを設定し、ボランティア養成の充実を図りたい。

<事業の成果>

- ・ 体験活動に長年従事、精通している NPO 法人の代表理事を講師として招へいたことで、専門に特化した内容の講義・実習を実施することができた。
- ・ 講義や実習を通じ、法人ボランティア同士の意見交換も闊達となり、相互交流の場であるとともに、スキルアップのための自己研鑽の場になった。

<事業の課題>

- ・ 昨年度は自然体験活動指導者(NEAL)資格取得も含めると、年度内2回にわたるのカリキュラム履修であった。今年度は機構本部も推奨している自然体験活動指導者(NEAL)資格取得まで視野にいれ2泊3日とした。金曜日から日曜日までの期間としたため、昨年度、土曜日、日曜日の1泊2日と異なり、学生の授業日が重なり、受講者が定員を割ってしまった。次年度より、自然体験活動指導者(NEAL)資格取得者は増加したが、法人ボランティア増加には至っていない。次年度は、福島大学との連携協定を結び、ボランティア論の単位認定を視野に入れ、受講者の獲得を図る。さらに、所としての枠も設け、今年度以上の法人ボランティア受講生の増加を図る計画になっている。

(企画指導専門職 遠藤 公太郎)